

令和8年度 学校経営にあたっての誓い

諫早市立本野小学校 永井 洋

1 令和8年度のゴール

このゴールの姿を目指し全教育活動を進めます。

子どもたち全員に、「心に残る財産」をもたせて次の学年、中学校へ送り出すこと。**がんばりやチャレンジを自信へ。**

「心に残る財産」とは？

○ 共生「和顔愛語」(わけんあいご)

・仲間と協働し 喜びも痛みも 分かち合うことができる

○ 自立「下学上達」(かがくじょうたつ)

・自分のことは自分でし 自分で考え それを表現(話す・書く)できる

○ 貢献「臍下丹田」(せいかたんでん)

・誰かのために汗を流し 人の役に立とうという 意欲をもつことができる

「和顔愛語」…穏やかな顔とやさしい言葉で人に接すること

「下学上達」…基礎的な段階から学び始め、最終的に深い学びに至ること

「臍下丹田」…へその下約9センチメートルあたりの所でそこに気力を集めると、健康を保ち、勇気が生じると言われている

自分の物語(人生)を自分の力で紡いでいくことができる力の基礎を育てたい。

2 そのために教師が心掛けたいこと

- ①心の身体の健康。働き方、働きがいをもう一度考えてみる。
- ②とことん、子どもと向き合う。心と会話でつながる。
- ③人を頼る、周りに聞くことは、恥ずかしいことではない。
- ④判断基準は、子どもの今と未来にプラスになるかどうか。(子どものためになっているか)
- ⑤子ども、同僚を敬う。言葉遣い、仕草。互いに気持ちの良い仕事を。
- ⑥優先順位をつけて、すべきことはする。一方で、弱音、悩みを言える職員室に。

「大人(先生)っていいな」と思っている。

3 常に危機意識をもつこと

- ①教育活動は「安全第一」「命第一」「子ども第一」の計画で実施する。
- ②よくない情報ほど早く伝える。「おやっ」と感じたら声に出す。
- ③飲酒運転は絶対にしないし、絶対にさせない。
- ④体罰、暴言は絶対に許さない。見て見ぬふりもしない。
- ⑤個人情報等はルール通りに適切に管理する。

信頼は小さなことの積み重ねから生まれる。

学校を離れるときに「本野小学校に勤務できてよかった」と心から思えるように励みたい



○ 共生

- ・仲間と協働し 喜びも痛みも 分かち合うことができる

【8年度前半の重点指導項目】

- ① 「時を守り、場を整え、礼を尽くす」特に、学習の始まり終わりのけじめをつけ、後始末をしっかりでき（自分は使わないから片づけないは×）、学校外（特に地域子ども教室やふれあい会館の利用）でも礼儀正しく、ルールを守れる子どもを育てる。
- ② 「Call & Response」双方向でのコミユカの高めあい、特に、人の話や行動、呼びかけに対しては、賛否を含めた何かしらの反応（声だけではなく表情、ジェスチャー、動きを含む）ができる子どもを育てる。

○ 自立

- ・自分のことは自分でし 自分で考え それを表現（話す・書く）できる

【8年度前半重点指導項目】

- ① 組織的な個別指導の在り方を探りながら、個々の課題にあった基礎学力向上（特に、算数科四則計算力、文章から題意をつかむ力）に努める。
- ② 自分で考える力（話合いたい、書きたいを含む）のさらなる向上のために、自考する時間、交流する時間、様々な考え（やり方、課題）から選択する時間、自分に合った学習スタイルを考え作り出す時間（振り返りなど）を意図的に設定する。

○ 貢献

- ・誰かのために汗を流し 人の役に立とうという 意欲をもつことができる

【8年度前半重点指導項目】

- ① 自分の役割、責任ある仕事に対しては、主体的に協働して取り組めるように指導を工夫する。見て見ぬふりをする児童への声掛けと支援は、全職員で揃えて行う。（する人しない人がいないようにする）
- ② 「諦めないでチャレンジする児童の育成」のために、自分の「的」に向かう意識をもたせ、それにたどり着けるような「標」を明確にしていく支援を行う。